



### POINT 1

## カテーテル領域での ロボット支援下手術

### POINT 2

## FFR-CTを用いた 虚血評価

### POINT 3

## 冠動脈疾患と全身血管の 動脈硬化の相関性



## 冠動脈 疾患

# トータル血管 マネジメントの極意

▶ ①3:43  
▶ ②3:25  
▶ ③3:47

## 包括的PCIと 血管病治療の展望



福岡山王病院 病院長  
循環器センター長  
国際医療福祉大学教授

よこい ひろよし  
**横井 宏佳 先生**

●専門分野  
狭心症、心筋梗塞、下肢閉塞性動脈硬化症、高血圧、心不全、睡眠時無呼吸症候群

●経歴  
日本心血管インターベンション治療学会 理事、日本フットケア学会 理事、日本下肢救済・足病学会学術集会 理事、日本冠疾患学会 評議員など歴任。

※1 FFR-CT：冠動脈CTA画像から冠血流予備量比(FFR)を評価する画像診断技術。2018年12月より、日本でも臨床での使用が可能となった。

高年齢心不全患者が顕著に増加する「心不全パンデミック」の時代が差し迫っています。その主因でもある心筋梗塞に対する評価方法は、FFR-CT※1をはじめとする画像診断・解析技術の登場により、新たな段階に入っています。治療方法に関しても、カテーテル領域でのロボット支援下手術の保険適応など、多くの患者に対する治療選択肢の幅が広がっています。  
「平均寿命と健康寿命のギャップは結局のところ、運動がでなくなることに起因する」と横井先生はおっしゃいます。  
そこで、全身血管のマネジメントの観点から、詳しく解説頂きました。

## 緑内障

# 低侵襲緑内障手術(MIGS) 治療フロンティア



北里大学医学部 眼科学  
主任教授

しょうじ のぶゆき  
**庄司 信行 先生**

我が国における40歳以上の緑内障の有病率は5%と言われ、その7割が正常眼圧緑内障になります。機能選択的視野検査、光干渉断層計の開発による早期診断、様々な点眼剤が市販され、より低侵襲な緑内障手術の開発により早期治療が可能となります。

そこで、専門医、非専門医それぞれに向け、低侵襲緑内障手術 (MIGS: MINIMALLY INVASIVE GLAUCOMA SURGERY) を中心に解説いただきます。

- 専門分野：緑内障
- 主な所属学会  
視覚と眼科研究学会、アメリカ眼科アカデミー、日本眼内レンズ屈折手術学会、日本眼科手術学会、日本緑内障学会、日本眼科学会



▶ ①10:20  
▶ ②12:15  
▶ ③14:02



非専門医  
向け

## 緑内障が疑われたら ～検査・診断・治療を総ざらい～

- POINT 1 緑内障の視神経障害メカニズム
- POINT 2 点眼か？レーザー療法か？
- POINT 3 緑内障の観血的治療の概要

アジェンダ



▶ 27:27



専門医  
向け

## 低侵襲緑内障手術の現状

- POINT 1 緑内障手術に求めること
- POINT 2 当院の治療成績から考える適応
- POINT 3 MIGSの現状と課題

アジェンダ

**疼痛**

**医師会員限定動画**

**糖尿病性神経障害の治療**

5:33



注目動画

- POINT 1 糖尿病性神経障害の診断・治療
- POINT 2 糖尿病性神経障害の薬物療法
- POINT 3 タリージェの有用性

糖尿病性神経障害は、糖尿病患者さんに最も多い合併症のひとつであり、患者さんのQOLやADL低下、そして生命予後にも関連することから、積極的なスクリーニングや早期診断が重要です。

糖尿病性神経障害の発症や進展を抑制するには、血糖コントロールを厳格に行うことが非常に重要です。

神経障害による痛みの治療は、「神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン」に準じて行いますが、病型に応じた疼痛へのアプローチが求められます。



鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科  
糖尿病・内分泌内科学

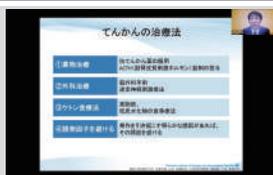
出口 尚寿 先生

提供：第一三共株式会社

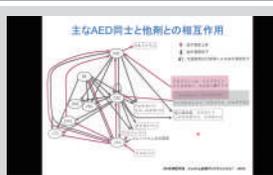
**薬剤師向け てんかん診療 学術講演会**



73:57



55:01



**① 薬剤師として知っておきたい てんかんの基礎知識 — てんかんの治療 —**

- アジェンダ
- ① てんかんの薬物治療について
  - ② 抗てんかん薬の副作用
  - ③ 抗てんかん薬の相互作用
  - ④ てんかんとアドヒアランス



国立病院機構  
静岡てんかん・神経医療センター  
治験管理室

山本 吉章 先生

提供：ユーシーピージャパン株式会社 JP-N-KP-EPI-2100070

**② てんかん知識応用編 — 薬物・投与・多職種連携から最新医療事情まで —**

- アジェンダ
- ◎ てんかん治療の流れ
  - ・薬物治療における注意点
  - ・新規薬の役割・位置づけ
  - ◎ てんかみを啓発する
  - ・地域連携と てんかん疾患啓発活動



広島大学病院 てんかんセンター長  
広島大学大学院 脳神経外科学 准教授

飯田 幸治 先生

CLINICAL CLOUD  
**LIVE**  
クラウドライブ

**低亜鉛血症オンライン講演会  
高齢者の栄養障害 ～低亜鉛血症の問題～**



日時

2021年11月11日(木)  
**13:00-13:30**

高齢者の栄養障害とフレイル、サルコペニアとの関連についてご紹介頂くとともに、高齢者に多い亜鉛不足、亜鉛不足症状の問題点についてご講演頂きます。

演者

名古屋大学大学院医学研究科  
地域在宅医療学・老年科学講座(老年内科)  
教授

くずや まさふみ  
**葛谷 雅文 先生**



- ご紹介
- 日本老年医学会(理事)、日本動脈硬化学会(理事)
- 日本在宅医学連合学会(理事)、日本臨床栄養学会(理事、指導医)、
- 日本サルコペニア・フレイル学会(理事)

共催：ノーベルファーマ株式会社 / メディパルグループ